

リース業界が国連の持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けてさらなる貢献をしていくためには、これまで培った事業基盤や経営基盤を高度化するともに、新たな事業領域への進出も必要になる。そのためには人材育成、デジタル変革(DX)によるイノベーション創出の取り組み、さらには拡大する事業領域や強みを相互補完できるビジネスパートナーとの連携も求められる。

SDGs達成に向けた取り組みの訴求や投

リース業界最前線

40

資家との対話を通じ、環境や社会課題の解決に用途を限定したグリーンボンド/ローンのほか、「サステナビリティ・リンク・ローン」など、サステナブルファイナンスによる資金調達基盤を強化していく動きも進む。2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)実現に向けては、ソリューション型プロバイダーとしての役割が求められる。

太陽光発電設備をリース会社が設置し発電した電力を使用者に提

SDGs達成へ強み発揮

脱炭素社会実現へ「共創」



三井住友ファイナンス&リース代表取締役専務執行役員 諸岡 礼二

提供するPPA(電力買取機能はリース業界の売契約)モデルや、最適な補助金を活用し、交付団体との折衝から申請手続きまでワンストップで対応する設備投資ソリューションの提供など、顧客のニーズに応じて最適解を導き出すコンサルティング

提供し、国際海運業界の脱炭素化を後押しする取り組みも推進している。モノのライフサイクルに関わり、金融から事業まで広範な事業領域を持つリース業界は、バリューチェーン全体での取り組みが一層求められる中、上流から下流までさまざまな力テクノロジーで排出量削減に向けたソリューションを提供し得る。その際も顧客やビジネスパートナー

「共創」への潮流、循環型社会の実現に向けた取り組みは進む。この新しい潮流において、モノを所有するアンカーにもなり得るリース会社は、サービスや事業の拡大を推し進めていく。そして何より、顧客の最良のビジネスパートナーとして、持続可能な社会の実現に向け、金融の枠を超え新たな価値を提供し続ける存在であり続ける。それはひとり当社だけでなく、リース業界あがての決意だと信じて疑わない。

営」への潮流、循環型社会の実現に向けた取り組みは進む。この新しい潮流において、モノを所有するアンカーにもなり得るリース会社は、サービスや事業の拡大を推し進めていく。そして何より、顧客の最良のビジネスパートナーとして、持続可能な社会の実現に向け、金融の枠を超え新たな価値を提供し続ける存在であり続ける。それはひとり当社だけでなく、リース業界あがての決意だと信じて疑わない。

(おわり)